

平成 30 年度山口リハビリテーション病院第 1 回外部講師招聘講習会報告

1. テーマ: 高次脳機能障害に対するリハビリテーション — 注意障害に対する評価と介入 —
2. 講師: 国際医療福祉大学福岡保健医療学部 作業療法学科 講師
原 麻理子 先生(高次脳機能障害専門作業療法士)
3. 日時: 平成 30 年 8 月 31 日(金) 17:10~18:30
4. 場所: 山口リハビリテーション病院 1 階 リハビリセンター
5. 対象: 医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
6. 参加人数: 約 90 名

この度は、国際医療福祉大学福岡保健医療学部作業療法学科講師の原麻理子先生に学ぶ機会をいただきました。



まず、高次脳機能障害における評価についてお話があり、評価の視点や神経心理学的検査の意味合いについて、詳しく説明していただきました。その中で、情報収集の大切さや文脈の中で生活を観察すること、注意障害とその他の高次脳機能の関連性を整理し、生活課題につながる中核の障害を評価することについて学びました。また、ICF をもとに包括的にとらえる重要性に改めて気づくことができました。

次に、注意障害に焦点をあて、注意の概念や制御システムについて学びました。また、注意障害に対する評価法やアプローチについて、具体例を提示いただき詳しく説明していただきました。特に、課題の選定や段階付け、およびフィードバックの方法など作業療法実施場面において考慮すべき多くの視点をご教示いただき、専門職としてのやりがいにつながる大変有意義な時間となりました。



今回は、高次脳機能障害を考える上でベースとなる注意機能に焦点をあて講義をいただきました。当院においては、対象者の約 7 割が脳血管疾患であるため、ご講義いただいた多くの視点を臨床場面で実践し、より充実したリハビリテーションを提供できるよう、研鑽を続けていきたいと思います。

最後に、原先生には限られた時間の中で多くの視点からご講義いただきまして、誠にありがとうございました。

(文責 作業療法課長 田中 伸二)

